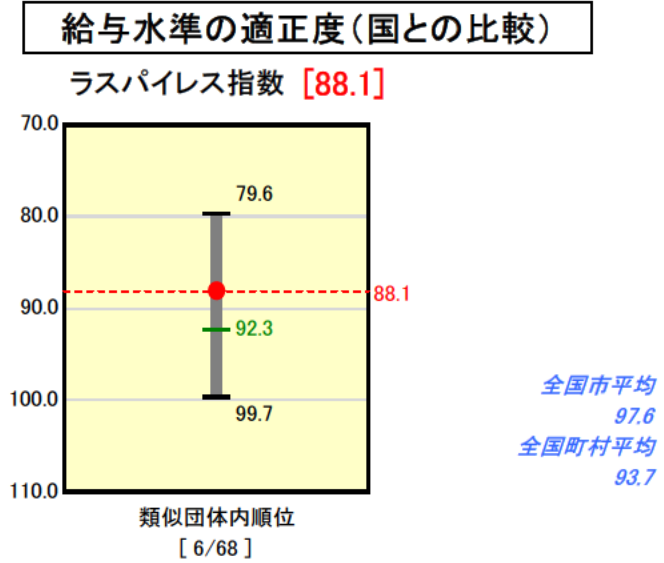
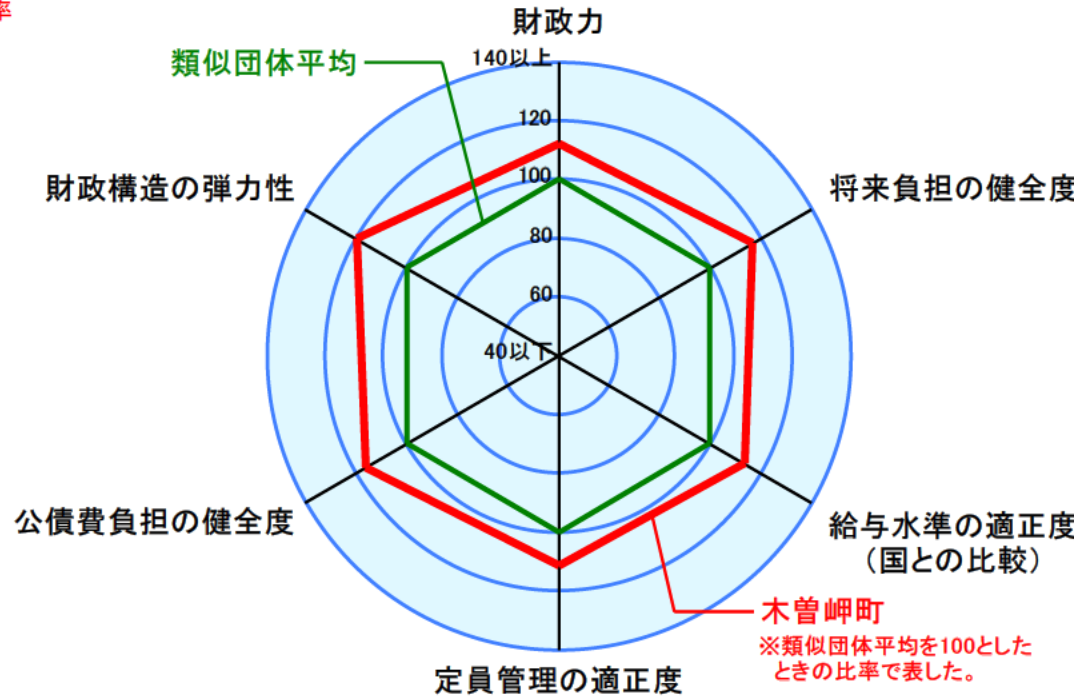
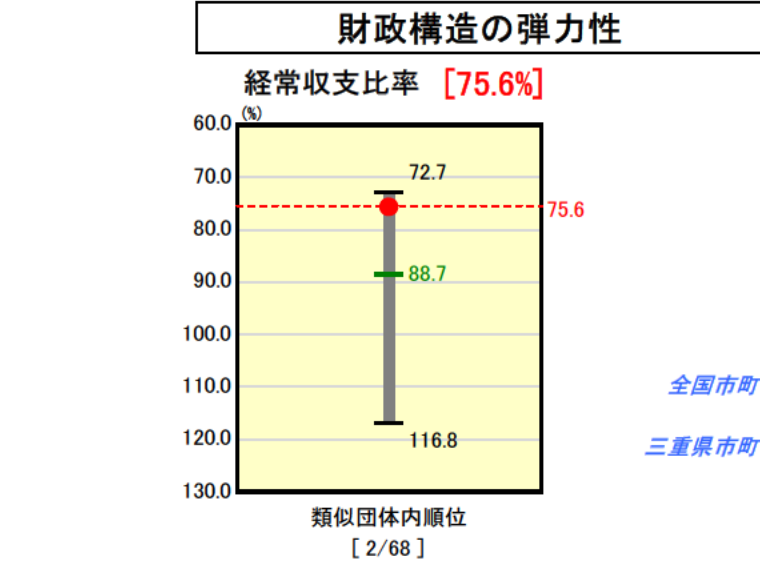
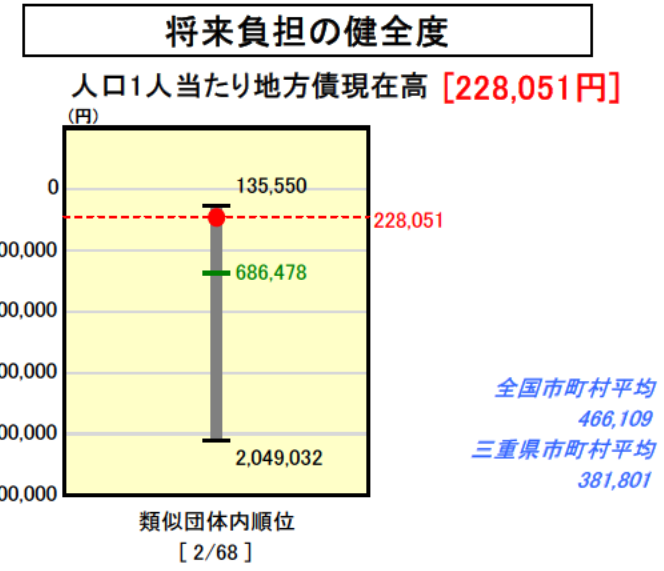
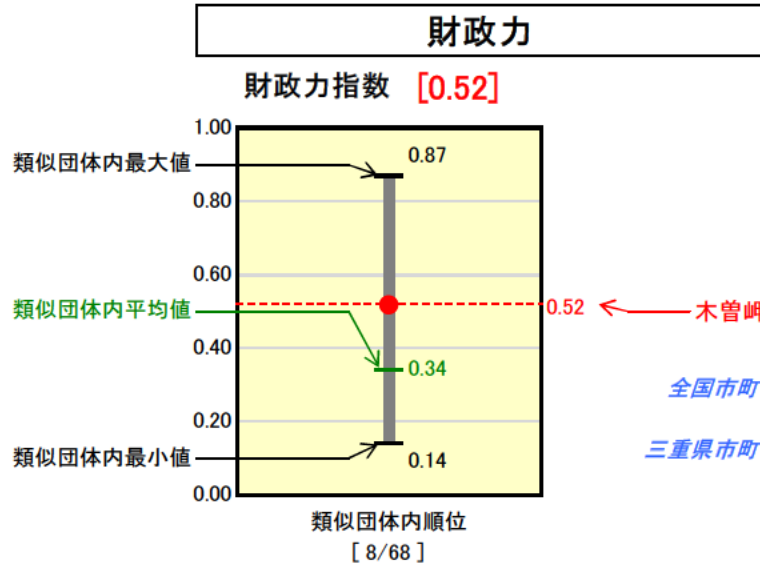


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 木曾岬町

| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 6,847 人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 15.72 km ² |
| 歳入総額 | 2,795,146 千円 |
| 歳出総額 | 2,604,222 千円 |
| 実質収支 | 181,796 千円 |



分析欄

【財政力指数】平成12年度から連続して上昇傾向にあり、類似団体平均を上回る0.52であるが、北勢地区では低い財政力となっている。今後も未利用地の早期促進、企業誘致を展開して税入確保に努める。

【経常収支比率】三位一体改革による一般財源化や公債費負担の増加により財政構造の弾力性が圧迫されており、今後においても義務的経費の抑制に努める。

【起債制限比率】類似団体平均よりは低い数値ではあるが、今後の地方財政法の改正において、実質公債比率が上昇する恐れがあり、今後ともより一層の公債費負担の健全化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】類似団体平均よりは低い数値ではあるが、今後に於いても、負担が増えることがないように適正な事業計画と地方債計画を遂行しより一層の健全化に努める。

【ラスパイレス指数】全国平均及び類似団体平均を下回っており三重県下でも低い状態となっている。今後においては適切な人事評価の導入により職務、職責、各自の目的達成度の評価に応じた勤務評価制度による給与体系の見直しを図り、給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】平成12年から5年間で15%の職員数で13人の削減をしており、今後においても、集中改革プランに沿った事業の見直し等、より適切な定員管理に努める。

